

平成30年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	36,693,270円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

(1)岐阜市北青少年会館		H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期
利用者数(単位:人)		11,773	12,735	12,188	12,327	13,050
各室稼働状況(%)	研修室1	29.8	31.6	22.8	47.6	32.9
	研修室2	19.3	20.2	13.2	23.9	16.2
	講義室	45.9	43.0	42.1	42.5	46.6
	体育室	85.0	86.4	78.6	85.5	88.3
	屋外コート	44.9	40.4	33.4	47.4	53.5
(2)岐阜市青山青少年会館		H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期
利用者数(単位:人)		11,088	7,164	10,007	7,241	8,162
各室稼働状況(%)	会議室1	14.6	16.8	7.3	14.6	20.2
	和室1	21.2	9.3	4.9	6.2	4.0
	和室2	28.3	13.0	13.4	8.9	11.3
	体育室	69.5	67.7	68.3	57.0	40.2
	屋外コート	9.5	9.4	22.9	6.5	8.5
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期
利用者数(単位:人)		8,903	8,505	8,529	7,386	8,427
各室稼働状況(%)	研修室1	57.3	47.2	49.3	48.0	52.9
	料理実習室	10.5	8.2	24.8	24.5	26.7
	体育室	65.3	74.2	72.4	64.5	71.0
(4)岐阜市東青少年会館		H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	H28 上半期
利用者数(単位:人)		9,530	9,626	8,137	10,405	12,008
各室稼働状況(%)	研修室1	63.1	56.5	53.4	52.3	56.2
	研修室2	64.7	58.5	58.4	54.5	57.7
	談話室	70.6	71.6	70.6	72.0	76.7
利用者数合計(単位:人)		41,294	38,030	38,861	37,359	41,647

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 嘱託職員 4人 臨時職員 12人（全16人のうち教員資格保有者 11人） ③広報ざぶ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況:利用者数 <b>41,294人</b> (前年度同期 38,861人) 利用団体数 <b>2,622団体</b> (前年度同期 2,538団体) ②講座事業 ・夏期少年講座:44講座開催 参加者 延べ933人 (定員 784人 応募者 878人) ※自主事業 ・春講座:8講座開催 参加者 112人 (定員 148人 応募者 143人) ・親子わくわく講座:18講座開催 参加者 125家族277人 (定員 179家族358人 応募者 259家族538人) ・岐阜キラメキ講座:15講座開催 参加者 274人 (定員 287人 応募者 357人) 講座事業総計:85講座 参加者 <b>1,596人</b> (3講座1人増) (定員 1,577人 応募者 1,916人) ③相談事業 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 上半期相談件数: <b>92件</b> (23件増) ・子ども会サポートプラン 上半期相談件数: <b>55件</b> (活動実施数 <b>18件 492人</b> ) (相談件数 23件増 活動実施件数 8件 200人増) ④学習拠点支援事業 ・小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 上半期利用者数: <b>2,962人</b> (842人増) ・サタデースクール(東青)サンデースクール(北青) 上半期利用者数: <b>139人</b> (60人増)
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③ねずみ、害虫等の防除等	①日常清掃: 臨時職員による清掃を期間中日常的に実施。 定期清掃: 再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。 ②職員による日常点検:開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。 機械警備:再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。 ③敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。 その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。

<p style="text-align: center;">施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速な修繕の実施</li> <li>・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</li> </ul>	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。</li> <li>・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。</li> <li>・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。</li> </ul> <p>修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>北青少年会館</td> <td>ブレーカー漏電修理</td> <td>75,600円</td> </tr> <tr> <td>東青少年会館</td> <td>談話室ホワイトボード張替</td> <td>66,960円</td> </tr> <tr> <td>青山青少年会館</td> <td>和室2畳表替え</td> <td>86,184円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防球ネットワイヤー取替</td> <td>113,400円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体育室網戸修理</td> <td>51,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務室エアコン修理</td> <td>14,580円</td> </tr> <tr> <td>青少年ルーム</td> <td>研修室引き戸修理</td> <td>10,260円</td> </tr> </table> <p>全7件実施</p> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育室床ワックスがけ(北青・青山・ルーム)</li> <li>・施設内樹木・植栽の剪定、除草(4館)</li> <li>・害虫駆除(北青・青山)</li> <li>・臨時駐車場除草(北青)</li> <li>・屋外プレハブ小屋扉補修(北青)</li> <li>・看板修理(北青・青山)</li> <li>・駐車場整地・補修(青山)</li> <li>・カーペット張替(青山) ほか</li> </ul>	北青少年会館	ブレーカー漏電修理	75,600円	東青少年会館	談話室ホワイトボード張替	66,960円	青山青少年会館	和室2畳表替え	86,184円		防球ネットワイヤー取替	113,400円		体育室網戸修理	51,000円		事務室エアコン修理	14,580円	青少年ルーム	研修室引き戸修理	10,260円
北青少年会館	ブレーカー漏電修理	75,600円																					
東青少年会館	談話室ホワイトボード張替	66,960円																					
青山青少年会館	和室2畳表替え	86,184円																					
	防球ネットワイヤー取替	113,400円																					
	体育室網戸修理	51,000円																					
	事務室エアコン修理	14,580円																					
青少年ルーム	研修室引き戸修理	10,260円																					
<p style="text-align: center;">危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施</li> <li>・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定</li> <li>・個人情報保護担当者を配置</li> <li>・「個人情報保護宣言」表示を継続</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「応急手当協力事業所」の登録(4館完了)</b></li> <li>・職員による定期安全点検の実施</li> <li>・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備</li> <li>・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策)</li> <li>・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続</li> <li>・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。</li> </ul>																					

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート          ・全ての施設利用団体(代表者)に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート          ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>③「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。(対象:施設利用者)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート          「利用回数について」 2,155件          初めて:23件 1.1% 複数回:2,132件 98.9%          「全体の満足度について」 2,155件  <b>大変満足:61.7% 満足:37.0%</b> 普通:1.3% 不満:0.0% 大変不満:0.0%  <b>(98.7%)</b>          「施設設備について」 2,155件  <b>大変満足:61.3% 満足:36.2%</b> 普通:2.5% 不満:0.0% 大変不満:0.0%  <b>(97.5%)</b>          「職員の対応について」 2,155件  <b>大変満足:64.8% 満足:34.0%</b> 普通:1.2% 不満:0.0% 大変不満:0.0%  <b>(98.8%)</b>  <b>【主な意見】</b>          「職員の対応が親切丁寧で気持ちよく利用しています。」(4館 同様の声多数)          「室温を下げる工夫をいろいろしてもらえて助かりました。」(北青)          「子どもが大勢いたが、静かで気持ちよく利用できた。」(東青)          「体育室に網戸がついて涼しくなったのでありがたい。」(青山)          「工事中、職員が駐車スペースの配慮、対応いただきありがたかった。」(ルーム)          その他感謝の声多数</p> <p>②主催事業参加者アンケート          (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しくなかった・⑤全然楽しくなかった)</p> <p>■夏期講座:          ◆少年講座          「講座は楽しかったか」 初めて参加:252件 <b>①:79% ②:18%</b> ③:2% ④:0% ⑤:0%  <b>(98%)</b>          複数回参加:468件 <b>①:76% ②:20%</b> ③:4% ④:0% ⑤:0%  <b>(96%)</b>          ◆岐阜キラメキ講座(自主事業)          「講座は楽しかったか」 初めて参加:79件 <b>①:75% ②:20%</b> ③:5% ④:0% ⑤:0%  <b>(95%)</b>          複数回参加:155件 <b>①:80% ②:17%</b> ③:3% ④:0% ⑤:0%  <b>(97%)</b>          ◆親子わくわく講座(自主事業)          「講座は楽しかったか」 初めて参加:58件 <b>①:91% ②:9%</b> ③:0% ④:0% ⑤:0%  <b>(100%)</b>          複数回参加:133件 <b>①:82% ②:17%</b> ③:1% ④:0% ⑤:0%  <b>(99%)</b>  <b>【主な意見】</b>          ・「苦手だった将棋が得意になった。」(北青:もう少し強くなろう楽しい将棋)          「もっと練習して家や学校でやりたくなった。」(北青:おもしろ手品教室)          「花のバランスを整えるのが難しく、集中して作業をする時間が楽しかった。」(東青:ハーバリウム)          「簡単なので家庭でも子どもと作りたい。」(東青:枝豆のケークサレ作り)          「工作でいろいろな英語が学べて楽しかった」(青山:英会話に挑戦しよう)          「本物の化石が見られてうれしかった。」(化石の壁飾り作り)          「消しゴムが完成して光った時はうれしかった。」(ルーム:光るエコ消しゴム作り)          「講師の先生が分かりやすく丁寧に教えてくれた。」(多数)</p> <p>■春講座(自主事業):          「講座は楽しかったか」 初めて参加:48件 <b>①:73% ②:25%</b> ③:2% ④:0% ⑤:0%  <b>(98%)</b>          複数回参加:54件 <b>①:72% ②:24%</b> ③:4% ④:0% ⑤:0%  <b>(96%)</b>  <b>【主な意見】</b>          「親の想像以上に子どもが集中して取り組んでいて、成長を感じた。」(東青:ビーズでネックレス作り)          「チームでの合戦が楽しかった。」(青山:スポーツチャンバラ)          「普段親子で工作はできないので良かった。」(北青:キラキラネックレス作り)          「親子で料理ができて楽しかった。」(ルーム:母の日料理作り)          「講師の説明がとても分かりやすかった。」(多数)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p><b>【主な意見と対応】</b>          ・「体育室の南側が眩しい。」          ⇒遮光カーテンの設置場所を変更して対応した。(後にお礼の言葉あり)          ・「テニスコート周辺の雨水用側溝の注意喚起をお願いしたい。」          ⇒側溝の手前に白線テープを貼り、利用者への注意喚起と安全確保を図った。          ・「隣室の音が大きくて気になった。」          ⇒気になるときは職員まで連絡いただくようお願いした。(職員から注意することを伝えた。)</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【青少年会館】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	I 住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	A	A	A
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報誌ふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	A	A	A
		(3)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
効果性	II 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	S	A	A
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	A	A	A
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	A	A
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	A	A	A
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
効率性	III 事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	S	S	S
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費削減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		(4)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

安定性 安全性	IV事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	A	A	A
		(2)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	A	A	A
		(3)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	A	B	B
		(4)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(5)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	A	A	A
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
貢献性	V事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	A	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み  
に対する評価

(II-(1))

1 講座事業

・3講座増やし体験活動の場を拡大するとともに、ハーバリウムづくりの導入や料理講座の拡大など、受講者の声を内容に反映しました。また、受講者に好評であった講座を他の会館にも紹介し、実施することで、多くの市民が受講できるよう工夫しました。**平均事業満足度は97%**(アンケートの評価項目のうち上位2項目の合計)と高い評価をいただきました。

2 相談事業

・上半期は合計92件の相談に対応し(対前年度比23件増)、学校生活や進路、学習相談のほか、**病気退職した青年の再就職や教員試験に関する相談など若者の就労に関する相談についても対応**しました。

3 学習拠点支援事業

・地域の学校への紹介や地元情報誌の活用、施設利用者への声かけにより、学習ルームの利用は**2,962人(対前年度比842人増)**となりました。

4 活動拠点支援事業

・「子ども会サポートプラン」では延べ55件の相談に対応し、18団体492人の活動に寄与することができました。うち、**8団体160人(対前年度比2団体58人増)**を会館利用につなげることができました。

5 連携事業

・**若者の就労(再就職・教員試験)に関する相談対応を行うとともに、少年・青年の「居場所」機能の充実を図るための環境整備に努めました。**結果、対前年度比で少年2,655人、青年841人の利用増となりました。

(II-(3))

2 施設利用のプロモーション(案内・提案)

・**大学への広報活動や利用者への声かけにより、対前年度比で少年利用が2,655人、青年利用が841人の利用増となりました。(4館全体)**

・子ども会サポートプランでは、相談対応した子ども会から他の子ども会へ紹介していただくことで、**活動に繋がった団数は対前年度比で8団体(200人)増となりました。**うち、**会館利用も2団体(58人)増**となりました。

3 施設設備の整備・充実

・青山青少年会館和室2について、発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象とした親子教室(エールぎふ主催)などの利用に対し、年度初めに**畳の表替えを行い衛生・安全対策を図りました。**また、**将棋や百人一首などの遊び道具を常設したことで、個人利用が増加し、稼働率は対前年度比で14.9%の増**となりました。

(II-(4))

2 青年層の利用拡大

・地元大学への広報活動や利用者へのこまめな声かけにより、**青年は団体利用で438人、個人利用で383人の利用増**となりました。

4 「セルフスタディサポート」の実施

・学習ルームの広報活動は、4館合同のチラシを作成し、周知活動に努めました。また、地域情報誌への紹介記事掲載や学校での紹介、利用者へのこまめな声かけを行った結果、学習ルームの利用は**対前年度比で842人の増**となりました。また、小学生を対象としたサタデー・サンデースクールの参加者は、**対前年度比で60人増**となりました。

5 「子ども会サポートプラン」の充実

・ホームページに新規活動メニューを追加掲載し、講座内容の充実を図りました。また、相談利用の団体を通じて、他の子ども会への紹介を行った結果、**対前年度比で相談対応23件、活動を実施した子ども会は8団体の増**となりました。

(III-(1))

1 コストをかけるサービスの優先順位

・利用者の要望に最大限こたえるため、限られた予算の中で計画的な予算執行に努めました。

(具体例)

a) 和室2の畳表替え(青山青少年会館)・・・環境美化と衛生・安全対策  
⇒ **利用者数及び稼働率向上**

b) 談話室ホワイトボード取替(東青少年会館)・・・利用者の利便性向上  
⇒ 利用者アンケートに感謝の声あり

c) 体育室網戸取付(青山青少年会館)・・・夏期の熱中症対策  
⇒ 利用者アンケートに感謝の声あり

2 コストをかけないサービスの向上

・東青少年会館の全室内の黒板をホワイトボードに取り替えたことにより、不要となった移動式ホワイトボード3脚を北青少年会館で有効活用しています。

・青山青少年会館の和室2に将棋や百人一首などの遊び道具を設置したことにより、**稼働率が対前年度比14.9%向上**しました。

・屋外プレハブ小屋の扉補修や屋内カーペットの張替え、施設内の看板補修など、職員による自前対応により経費縮減を図りました。

3 自主事業に実施によるサービス向上

・事業団管理施設間の事業協力により、講座講師を事業団職員が務めることで講師謝金の削減を図りました。(夏期講座では1講座 7,000円の縮減)

・その他の評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。

前回までの意見を踏まえた取組み状況

○所管課の意見口

(利用者の増減について)

・岐阜市子ども会育成連合会の会長会や長森地区において、子ども会サポートプランの広報に努め、少年の利用も増加していることから、一定の評価はできるが、今後は4館全てにおいて広報に力を入れ、周知が図れるとよい。また、青年の利用団数がかなり減っていることから、青年の利用に向けた方策を検討する必要がある。

(Ⅰ-(2))(Ⅱ-(4))

⇒子ども会サポートプランの広報活動は、チラシを作成して各ブロック委員会で紹介、説明を行ったほか、地域のたよりへの掲載やプランを活用した子ども会を通して他の子ども会へ紹介いただくなど多様な取り組みを4館で実施しました。青年利用については、地元大学への広報活動や施設利用者への声掛けなどを行った結果、利用団体は前年度並みの334団体でしたが、利用人数は対前年度比841人の利用増となりました。今後の新たな取り組みとして「青年講座」の開催について検討します。

(今後の方針について)

1 子ども会サポートプラン等の広報

・子ども会サポートプランや学習ルームの事業広報は一定の評価はするものの、一部の会館だけの取り組みになっているため、全館で広報できるとよい。

(Ⅱ-(4))

⇒学習ルームの広報活動は、4館合同のチラシを作成し、周知活動に努めました。また、地域情報誌への紹介記事掲載や利用者へのこまめな声かけに努めた結果、学習ルームの利用は対前年度比で842人の増となりました。また、子ども会サポートプランは利用団体が増加しており、今期は対前年度比で相談対応23件、子ども会活動の実施は8団体の増となりました。

2 若者相談支援

・若者支援対策の一環として、会館職員の人数を考慮しながらも、できるだけ相談にのれるような体制を推進してほしい。

(Ⅱ-(1))

⇒相談事業では、学習や学校生活での悩みのほかに就職に関する相談も対応しています。今期は教員試験に関する相談や病気で退職した青年の再就職に関する相談(相談者は保護者)がありました。今後は、こうしたいわゆる青年層の相談が増える可能性があります。青少年会館では、可能な限り多様な相談に対応できるよう体制づくりに取り組みます。

○評価委員会の意見

・施設本来の在り方を考える意味で、少年世代だけでなく、勤労青年世代が青年会館として利用するための方策について取り組むべきである。

(Ⅱ-(1))

⇒利用団体への声かけや大学への広報活動等によって、上半期の青年利用は4,114人となり対前年度比で841人の増となりました。勤労青年世代では、演劇や音楽活動の団体利用、電気整備士の試験勉強での個人利用などがありました。今後さらなる利用増を促すため、新たな取り組みとして「青年講座」の開催について検討します。

・自分たちで工夫してコストをかけずサービスを行っている点については高く評価できる。

(Ⅲ-(1)(3))

⇒限られた指定管理料の中で環境整備に割り振ることができる予算は多くありません。利用者が安全・安心・快適に利用できる環境を整えるには、職員でできることは「自前」で行う必要があります。今期においても、高度な専門性や危険度の高い作業は専門業者に依頼し、備品設備の小修繕や環境整備は日常業務の中で職員が行っており、経費削減に努めています。(一例:屋外プレハブ小屋の扉補修、看板修理、駐車場の整地・補修、敷地内樹木・植栽の剪定、カーペットの張替など)

・安く借りられる施設なのに稼働率が低いので、施設の存在についてしっかり周知してほしい。

(Ⅰ-(2))(Ⅱ-(4))

⇒今期は団体や個人利用者、学習ルーム利用者などに対する積極的な声かけや地元大学への広報活動などにより、青少年を中心に利用者数が増加し、施設の稼働率は概ね向上しました。また、青山青少年会館の和室2について、4月に畳の表替えを行い、将棋や百人一首等遊び道具を設置した結果、利用が増加し、稼働率が対前年度比で14.9%向上しました。同室は発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象とした親子教室(エールぎふ主催)でも利用されており、好評を得ています。このように、利用者への直接的な働きかけや外部への広報活動、施設の環境整備を図ることで、施設の周知と稼働率の向上に努めています。

今後の取組み	<p>(II-(1)(3)(4))</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・受講者の声から参加者のニーズを的確に分析し、「冬期講座」の内容を見直すとともに、開催期間の拡大を図ります。</li><li>・青年を対象とした講座の開催を検討します。</li></ul> <p>(II-(4))</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の学校や会館利用者に直接働きかけを行い、学習ルームの利用拡大を図ります。</li></ul> <p>(V-(1))</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の子ども会活動の活性化を目的として「子ども会サポートプラン」を継続します。</li></ul> <p>(I-(1))(V-(5))</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもや若者が気軽に利用できる身近な「居場所」としての機能が果たせるよう、職員対応と施設的环境整備に努めます。</li></ul>
--------	---

●所管課の意見

○ 利用者の増減について

	H29上半期	H30上半期	対前年度比		
少年利用人数	18,766	21,421	2,655	14%	増
団数	1,157	1,263	106	9%	増
青年利用人数	3,273	4,114	841	25%	増
団数	337	334	-3	1%	減
青少年合計 利用人数	22,039	25,535	3,496	16%	増
団数	1,494	1,597	103	7%	増

○ 評価と今後の方針について

【1 特に評価すること】

1 広報活動による青少年の利用増加

地域の学校へチラシを配布、地域情報誌での掲載、会館利用者への声かけ等の熱心な広報活動が実を結び、青少年の利用増加に貢献していることは素晴らしい。

→学習ルームの利用 2,962人 (842人増)

→全体の青少年利用 25,535人 (3,496人増)

2 きめ細やかなサービスによる利用増加

親子利用の団体が和室を利用するのに合わせて畳の表替えをしたり、利用者の遊びを観察した上で、将棋や百人一首などの遊び道具を常設したりと、きめ細やかなサービスで青少年の利用増加に寄与している。

3 コストをかけないサービス向上

限られた予算の中で、職員の知識・技能を活かし、利用者の満足度向上をできる限り図っている。

【2 更なる活躍を期待すること】

1 若者相談支援の推進

若者支援対策の一環として、会館職員の人数を考慮しながらも、相談にのれるような体制を推進してほしいとの声を受け、東青少年会館にて熱心な取り組みがあった。これには一定の評価ができるが、この取組が他会館へ広まることを期待する。

2 サンデースクールの利用

平成30年1月下旬から開始され9か月経過したが、いまだに利用されたことがない。周知が足りてないのか、曜日の問題なのか等、要因を探り手を打つ必要がある。

【3 早急に改善を求めること】

平成29年度上半期のモニタリングにおいて次の指摘をしたが、一部職員において今だに認識の薄い言動があるため、職員への実務的な研修や、職員間、会館間の共通理解が図れるような改善を求める。

「ベテランの元教員を職員に起用し、能力を活用する一方で、館の役割や使命についての認識の薄さが窺える言動が多々あるため、就任直後の職員に対する研修を行う等、早急な改善を求める。」

●指定管理者評価委員会の意見

- ・利用者が少ない事業については、要因を把握・分析し対策を検討していく必要がある。
- ・青年講座等の各種講座について、周知方法を工夫する等して、積極的に展開してほしい。
- ・円滑な業務遂行のため、組織内での情報共有に努めてもらいたい。